



2016年6月6日 北都留森林組合新旧役員集合写真

目次 第60号

- 上野原市ふるさと納税お礼品ヒノキまな板セット講評販売中
- 北都留森林組合新執行部がスタート
- 上野原市新保育所を理事会で視察
- 地産地消の家づくり完成見学会開催
- シイタケ原木販売中止のお知らせ
- シイタケ駒菌注文方法について
- 上野原市島田小学校の学校林整備活動指導
- ぐりーん&ライフ北都留森林組合掲載記事の紹介

北都留森林組合（山梨県） 多摩川・相模川流域における森林資源の循環活用モデル事業

造林から素材生産へ 事業を転換

山梨県最東部に位置する上野原市は、東は神奈川県相模原市に、北は東京都西多摩郡に境を接し、東京へ流れる多摩川、神奈川県に流れる相模川の源流の一部となっています。この上野原市に本部を置く北都留森林組合は「森を中心とした持続可能な流域循環型社会の実現」を経営理念に掲げ、活動を展開している。

平成24年度には、FRONT 80の助成事業を実施、それまでの造林一本の事業内容から素材生産を行う事業形態へと大きく転換した。林地の集約化を図り、林内作業路網を開設することで、切捨て間伐しか選択肢がなかった域内林家に



傾斜が急でこれ以上の作業道作設が不可能な施業支援林

対して搬出間伐の可能性を示したことは大きな前進だった。

ただし実際には、使い易く、崩れない森林作業道を開設すると、作業道開設のため作業路網の開設が困難な地域も多く存在し、新たな方策を考えた。

作業道と架線集材を組合わせて施業

このような情勢から得られた方針が「低コストで効率的に搬出間伐を進めるためには、使い易く崩れない森林作業道を開設すると、作業道開設には架線集材を活用するという二つの手法を上手に組み合わせる」とだった。

この作業道と架線集材を併用した



岩盤の状況と作設位置を検討



チェーン集材の要、巻取装置取付けた移動車

方法が本年度の農中森力基金の助成事業となっている。

新たな搬出システムの目玉となりそうなのが「Kシステム」と称されるチェーン式集材システムだ。

通常巻き取り装置から200〜300kg位以内なら問題なく対応できるとされている。実証試験では、連続集材時などの巻取り機能力、全木集材時の素材ダメージの有無、ルーブチェーン逆回し時の問題の有無、稼働総延長の限界などが検証される予定だ。

期待されるチェーン式集材システム

チェーン式集材システムとは、チェーンを、巻き取り装置と集材先端エリアに位置する支持木に固定した滑車装置間にルーブ状に設置し、それを巻き取り装置で循環駆動させるもの。

支持間に高い張力で架線を張る必要がなく、搬送速度は遅いが全木での連続集材が可能で、集材エリアもチェーンの連結・分離で対応性が高いことが特徴だ。

北都留森林組合の中田無双参事は「これが林業を救うかもしれない」と期待を込めながら、今年の10月24日と25日の両日にかけて、東京大学の酒井秀夫教授（東京大学大学院農学生命科学研究科）を招いて行う実証実験の実施に向けて準備作業を進めている。

**上野原市ふるさと納税のお礼品
「ヒノキまな板セット」講評販売中**

上野原市ふるさと納税のお礼品の品として北都留森林組合では「ヒノキまな板3点セット」をご用意いたしました。
インターネットのHPふるさとチョイスから上野原市を選択し、一万円を上野原市へふるさと納税して頂き北都留森林組合のまな板セットをお選び頂く宅急便でお品をお届けする仕組みとなっております。
お蔭様で全国の方々から多数のご注文を頂いており、上野原市へふるさと納税に少しばかりではあります貢献することができております。
これから、新たな木製の商品（積木など）の新商品開発を行っていき木製品の良さを全国の皆様にPRしていきたいと考えていますのでよろしくお願ひします。



簡単にふるさと納税ができる「ふるさとチョイス」のホームページ(納税はカード払が可能です)



ヒノキまな板3枚セット

北都留森林組合新執行部がスタート

平成28年6月6日、北都留森林組合新役員会が開催され、新たな執行部が承認されスタートいたしました。
新理事互選により選ばれました代表理事組合長は波多野晃組合長です。(2期目)
新たな理事の任期は3年平成31年5月末の総代会までです。組合員の皆様どうぞよろしくお願ひします。

新執行部

- | | |
|----------|-------|
| 代表理事組合長 | 波多野晃 |
| 代表理事副組合長 | 古家勝夫 |
| 代表理事副組合長 | 古家成勝 |
| 筆頭理事 | 白鳥民蔵 |
| 代表監事 | 田辺弘幸 |
| 理事 | 守屋雅博 |
| 理事 | 吉村一彦 |
| 理事 | 坂本五二 |
| 理事 | 岡部薫 |
| 理事 | 古屋金男 |
| 理事 | 奥秋正次 |
| 理事 | 松木寿美夫 |
| 理事 | 守重敏夫 |
| 理事 | 岡部杉男 |
| 理事 | 尾形廣行 |
| 理事 | 曾根英夫 |
| 理事 | 山口憲治 |
| 理事 | 森田和彦 |
| 理事 | 桑原俊夫 |
| 理事 | 降矢太治 |
| 理事 | 尾形正継 |
| 理事 | 小泉守 |
| 監事 | 木口正信 |



シイタケ原木販売中止のお知らせ

組合員の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。シイタケ原木販売は、東京電力福島第一原子力発電所事故を受け、農林水産省指導により放射能などの影響が懸念されるため販売自粛を続けて参りましたが、残念ながら今年度も組合員の皆様に販売できるシイタケ原木を調達することができず、販売を見送ることとなりました。
組合員様のご要望にお応えできず誠に申し訳ございません。

シイタケ駒菌注文方法について

当組合では、森産業のシイタケ駒菌を販売します。
ご注文方法は、全て予約注文とさせていただきます。ご注文ご希望の方は、本所までお電話にてお申込み下さい。
なお、販売開始は3月頃となります。

上野原本所0554 62) 3330

完成見学会
11月12日(土)10時～12時
ご先祖様が守る地産地消の家づくり

**地産地消の家づくり完成見学会開催
ご先祖様が守る大黒柱のある家**
平成28年11月12日、北都留森林組合が全面的に協力して完成した「ご先祖様が守る地産地消の家づくり完成見学会」が大月市で開催されました。
同家は、施主自ら、おじいさんが植えた樹齢百年を超えるスギを自分の手で伐採し大黒柱にした百パーセント山梨県産材の家です。見学会では大勢の見学者が訪れ、施主の想いを実現した北都留森林組合のほか設計士、工務店、大工、甲斐東部材プレカスト工場などが集いこの家づくりの魅力や苦勞話を座談会の形で集まった皆様に語りました。北都留森林組合では、地元の木を使った顔の見える家づくりをこれからも積極的に展開していきたいと思ひます。

上野原市新保育所を理事会で視察

平成28年8月29日、新理事による理事會にて平成29年春開園となる上野原市に新たに建築された新保育所を視察しました。
同保育所で使われた木は、北都留森林組合が全面的にご協力させて頂き、上野原市桐原地区の間伐材を中心に集めさせて頂きました。無垢の木がふんだんに使われた素敵な木造の保育所となっております。
地元の木で出来た園舎の中で、市内の子供たちに楽しく元気に過ごしてもらいたいと思ひます。



上野原市島田小学校学校林整備指導

今年も学校林整備活動指導を北都留森林組合で請け負い島田小学校の生徒たちと一緒に森づくりを実施しました。
今年、新たに学校林に整備したのは展望台です。学校林の展望台からは、上野原市新田地区を一望できる大変素敵な展望台ができました。
子供たちと一緒に森に入り、6年生は卒業記念植樹、5年生は間伐などの森林整備、クリスマスリースづくりなど様々な体験を通し森の大切さを伝えることができました。森を好きになってくれる地元の子供たちがひとりでも多く育ってくれることを願っています。
北都留森林組合はこれからも森林環境教育に力を入れていきます。

